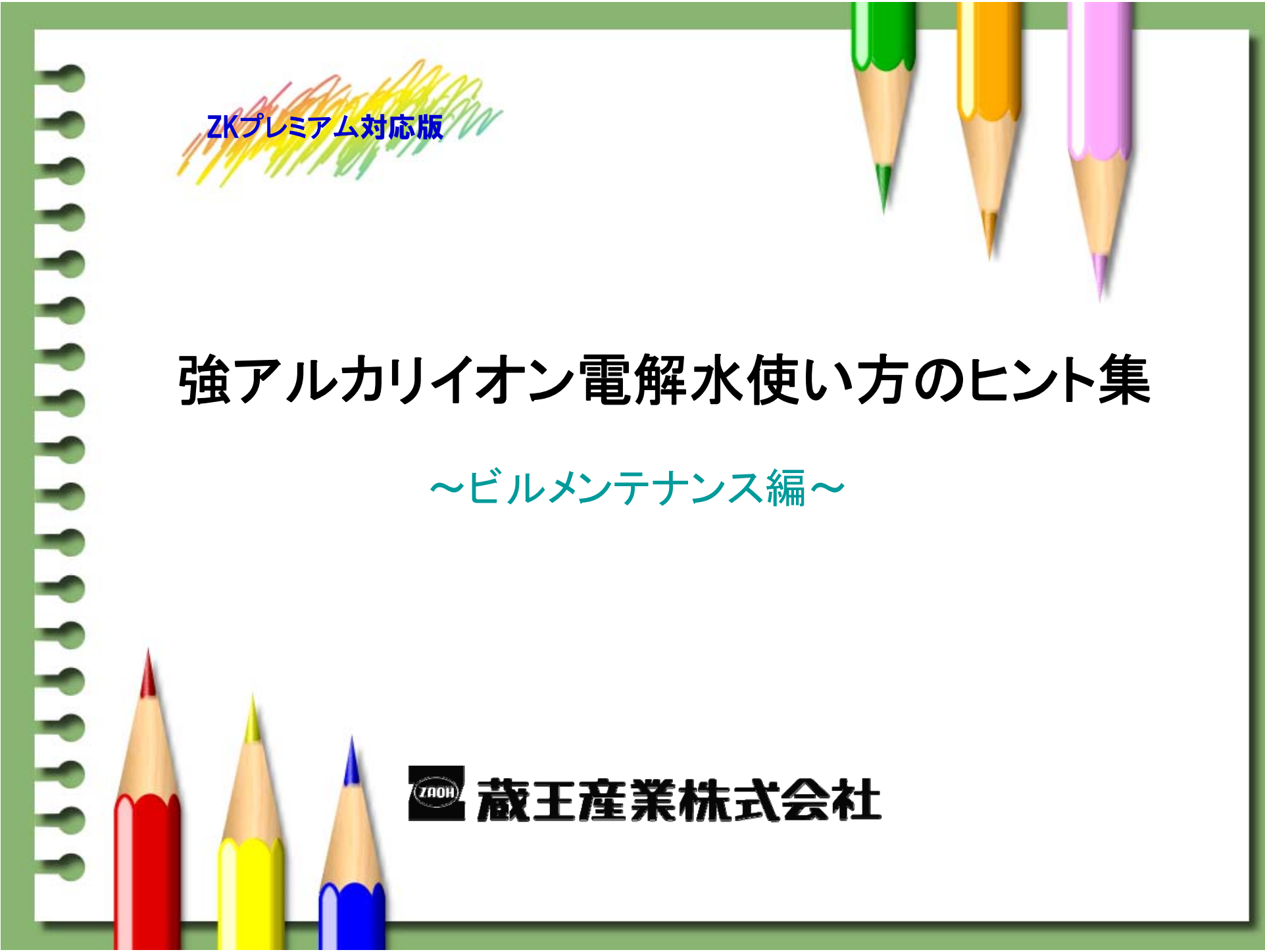




ZKプレミアム対応版

強アルカリイオン電解水使い方のヒント集

～ビルメンテナンス編～



蔵王産業株式会社

日常清掃編

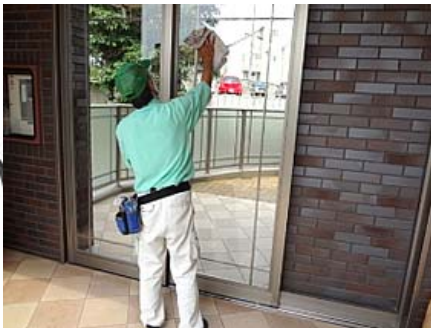
手が触れる場所の拭き掃除に・・・



抜群の洗浄力と除菌、失活効果が安全に得られます。
2度拭き不要で作業時間の短縮が出来ます。

- (希釈倍率) (pH12.5) 原液～30倍
(pH13.1) 4～120倍
- (使用方法) スプレーヤーで噴霧後、乾拭き。
もしくは、電解水に浸したウエスを絞って拭き上げ。
いずれも、別ウエスを使用した
すすぎのための2度拭きは不要です。
- (備考) 除菌や失活効果を期待する場合は
(pH12.5) 原液～5倍
(pH13.1) 4～20倍
の希釈以内でお使いください。

ガラスや鏡の拭き掃除に・・・



水のみだと手跡などが取れない・・・洗剤を使うと虹跡が・・・
そんな問題も解決いたします。

- (希釈倍率) (pH12.5) 原液～30倍
(pH13.1) 4～120倍
- (使用方法) スプレーヤーで噴霧後、乾拭き。
もしくは、電解水に浸したウエスを絞って拭き上げ。その後、乾拭き。
- (備考) 希釈に使用する水道水にカルキ分が多い場合はカルキ分による
ウォータースポット(シミ)が残ることがあります。
その場合は希釈倍率を下げ(濃く)
お使いください。

床の拭き掃除に・・・



効果的に汚れを除去し除菌、消臭効果も発揮します。
残留洗剤による2次汚染等のトラブルは皆無です。

- (希釈倍率) (pH12.5) 原液～100倍
(pH13.1) 4～400倍
- (使用方法) 電解水に浸したモップを絞って拭き上げ。
すすぎ拭きは不要です。
- (備考) 樹脂WAX仕上げの床やフローリング床
に対しては(pH12.5) 50～100倍
(pH13.1) 200～400倍
希釈の範囲でご使用ください。
トイレの床などに消臭を期待する場合は
(pH12.5) 原液～5倍
(pH13.1) 4～20倍
の希釈以内で使用ください。

床洗浄機に入れて・・・



残留洗剤を心配して極薄希釈の洗剤を使っても汚れは
落ちません。そんなジレンマも解決いたします。

- (希釈倍率) (pH12.5) 原液～100倍
(pH13.1) 4～400倍
- (使用方法) 床洗浄機の洗剤タンクに投入して洗浄。
- (備考) 樹脂WAX仕上げの床やフローリング床
に対しては(pH12.5) 50～100倍
(pH13.1) 200～400倍
の希釈範囲でご使用ください。
トイレの床などに消臭を期待する場合は
(pH12.5) 原液～5倍
(pH13.1) 4～20倍
の希釈以内で使用ください。

便器洗浄に・・・



日々の洗浄や臭い対策を強アルカリイオン電解水で行うことにより、尿石の付着も軽減いたします。

- (希釈倍率) (pH12.5) 原液～10倍
(pH13.1) 4～40倍
- (使用方法) スプレーヤーで噴霧後、ブラッシング。
洗浄水を流して終了。
洗浄水が流れない箇所はウエスで乾拭き。
- (備考) すでに付着してしまった尿石除去は出来ません。しかし、尿成分を洗浄除去することで尿石を生成するバクテリアやアンモニアの発生を抑える予防効果があります。
消臭や除菌を期待する場合は
(pH12.5) 原液～5倍
(pH13.1) 4～20倍
の希釈以内でお使いください。

便座の拭き掃除に・・・



除菌と洗浄を2度拭き無しで安全に行えます。
溶剤を含まないので便座を痛めることはありません。

- (希釈倍率) (pH12.5) 原液～30倍
(pH13.1) 4～120倍
- (使用方法) スプレーヤーで噴霧後、乾拭き。
もしくは、電解水に浸したウエスを絞って拭き上げ。
いずれも、別ウエスを使用した
すすぎのための2度拭きは不要です。
- (備考) 除菌や失活効果を期待する場合は
(pH12.5) 原液～5倍
(pH13.1) 4～20倍
の希釈以内でお使いください。

ユニットバスの清掃に・・・



洗剤のように泡を洗い流すための念入りなすすぎが必要ありません。
スピードを求められる作業現場に最適です。

(希釈倍率) (pH12.5) 原液～10倍
(pH13.1) 4～40倍

(使用方法) スプレーヤーで浴槽等に直接噴霧し
スポンジで洗浄。シャワーでサッと流して
すすぎ終了です。

(備考) 生干しの異臭が発生したシャワーカーテンに
(pH12.5) 原液～5倍
(pH13.1) 4～20倍を噴霧しそのまま乾燥
させることで消臭効果を発揮いたします。

大浴場の清掃に・・・



残留洗剤によるヌメリは一切発生しませんので安全です。また、酸性洗剤のように床目地を痛めませんので安心して使用できます。洗い場周りの石鹸カスや付着した皮脂を強力に分解いたします。
また、シャワーホースなどのカビの発生を抑えます。
レジオネラ菌への除菌効果も実証済みです。

(希釈倍率) (pH12.5) 原液～10倍
(pH13.1) 4～40倍

(使用方法) 床には直接散布後、ポリッシャーや高圧洗浄機で洗浄。すすぎはサッとで十分です。
洗い場周りはスポンジやブラシを電解水で浸し洗浄してください。

(備考) 鏡に発生した鱗の除去は出来ません。
カビ取り剤との併用が可能です。
酸性洗剤と併用しても安全上の問題は
ありませんがお互いの洗浄力が相殺されて
しまいます。

カーペットやソファ等のしみ抜きに・・・



しみ抜き洗剤のように残留による脱色、変色、汚れ再付着等のトラブルは発生しません。
日々のシミ取り作業をエラーなく行うことができます。

(希釈倍率) (pH12.5) 原液～10倍
(pH13.1) 4～40倍

(使用方法) スプレーヤーにて噴霧、素材に合わせて
ブラシなどでアジテーションを加えて
ウエスで吸着回収してください。
アルカリは自己分解しますので安全です。

(備考) 染色されたシミを取ることは出来ません。

嘔吐、糞便処理(ノロ対策)の補助に・・・



強アルカリイオン電解水にはノロウイルスに対する失活効果が公的機関のテストで証明されております。
(ネコカリシウイルス代替)

厚生労働省が推奨する次亜塩素酸ナトリウムには刺激臭や腐食性があるため場合によっては使用が困難なこともあります。

無臭で皮膚刺激性もなく洗浄対象物に対して腐食性も示さない強アルカリイオン電解水を補助的に使用することでより確実に安全に処理作業を進めることができます。

(希釈倍率) (pH12.5) 原液
(pH13.1) 原液～4倍

- (使用方法)
- ① 汚物を中心とした半径2.3メートルに強アルカリイオン電解水を散布します。ペーパータオル等で外側から内側に向けて拭きとります。
 - ② 拭きとった汚物はすぐにビニール袋に密閉します。
 - ③ 更に強アルカリイオン電解水を噴霧し汚物が残留しないようにきれいに拭きとります。
 - ④ 汚物を中心とした半径2.3メートルに0.1%濃度の次亜塩素酸ナトリウムをペーパータオル等で浸すように塗り広げ10分程度待ってから拭きとります。更に、強アルカリイオン電解水にてすすぎ拭きを行います。
 - ⑤ 作業後の手洗いを強アルカリイオン水にて入念に行います。(pH12.5) 原液
(pH13.1) 4倍

(備考) その他の補足は厚生労働省のマニュアルを順守してください。

モップ糸やウエスの洗濯に・・・



清掃で使用したモップやウエスが
菌やウイルスの感染源になることを防ぎます。
病院や老健施設等の厳格な衛生管理に役立ちます。

(希釈倍率) (pH12.5) 原液～5倍
(pH13.1) 4～20倍

- (使用方法) ①清掃で使用したモップやウエスを洗濯するまでの間、ペール等に満たした強アルカリオン電解水に浸しておきます。これにより予備洗浄と除菌、失活が同時に行え、菌やウイルスの拡散リスクを軽減します。
- ② 漬け込んだ強アルカリオン電解水ごと洗濯機に投入し洗濯します。残留性がないので「すすぎ1回」もしくは短時間のすすぎで十分です。
- ③ 乾燥環境が悪く、生干しの臭いが発生した場合はスプレーヤーで強アルカリオン電解水を噴霧し再乾燥させると臭いを抑える効果があります。

(備考) 蛍光増白剤を含みませんので白いウエス等が黄ばんだようになる場合がありますが、本来の繊維の色になっているだけです。汚れの状況により洗剤を併用することも可能です。

定期清掃編

ワックス床の定期洗浄に・・・



ワックスの被膜を軟化させる効果で、劣化被膜に入り込んだ汚れをスピーディーに除去します。残留洗剤がなくワックスリコート前のすすぎ拭きが必要ありません。作業時間を大幅に短縮できます。ワックスの密着性が良くなり作業品質が向上します。



(希釈倍率) (pH12.5) 5倍～10倍
(pH13.1) 20～40倍

(使用方法) モップで先塗り、タンクポリッシャーでの滴下洗浄どちらでも使えます。汚水を回収した後のすすぎは原則必要ありません。乾燥後ワックスをリコートしてください。

(備考) 先塗り時に強アルカリイオン電解水がはじいてしまう場合は10Lに対し2～3滴の中性洗剤を添加すると濡れ性が改善されて床に対して馴染むようになります。

ワックス床の剥離作業に・・・

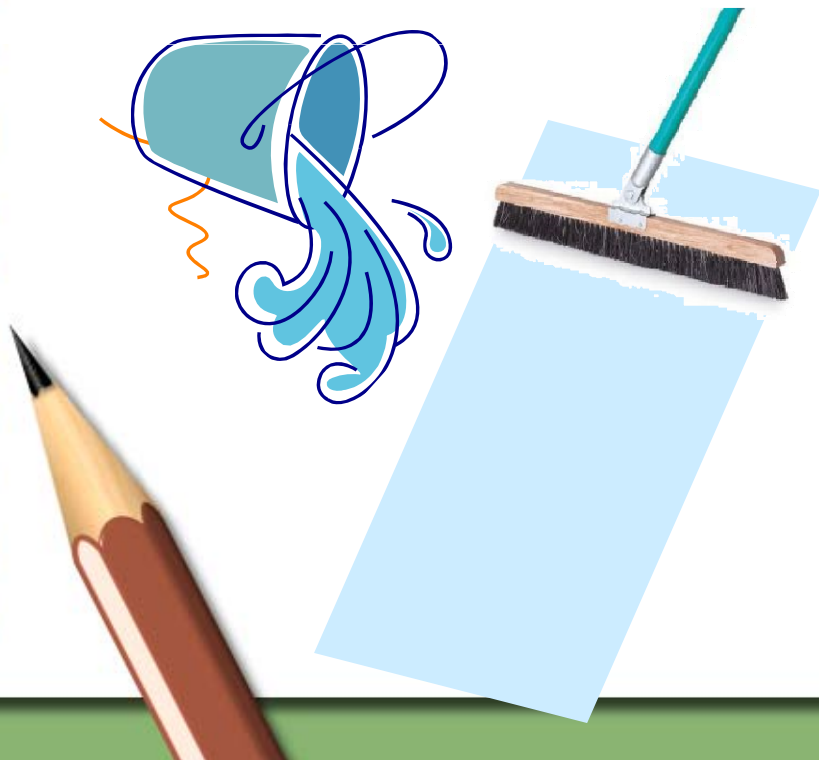


剥離剤を強アルカリイオン水で希釈することで浸透性がアップしドライバックしにくい剥離溶液が作れます。1回の剥離剤塗布で溶解するワックス被膜の量が増えますので、作業時間と剥離廃液の両方を削減することが可能となります。

(希釈倍率) (pH12.5) 原液～5倍
(pH13.1) 原液～20倍

(使用方法) 上記倍率で希釈した強アルカリイオン電解水と剥離剤原液を混ぜる。
剥離剤の希釈倍率はその剥離剤が定める最高濃度を採用する。

(備考) 直接剥離剤を床に撒き、自在ほうきで塗広げるとより効果的です。
モップをペール内の剥離剤に浸して塗布する方法ではモップに付着した溶解ワックスが剥離剤に混入してしまい本来の剥離性能を発揮できません。
剥離剤で均一な水面を作るイメージで少し多目に塗布するのがコツです。
リンス洗浄やモップでのすすぎ拭きの際にも強アルカリイオン電解水を使用すると床がさらさらに仕上がります。



セラミックや石質フロアの洗浄に・・・



微細なポーラスやノンスリップ加工された床材の洗浄に抜群の洗浄効果を発揮いたします。
残留洗剤による2次汚染が発生しません。

(希釈倍率) (pH12.5) 原液～30倍
(pH13.1) 4～120倍

(使用方法) モップで先塗り、タンクポリッシャーでの滴下洗浄どちらでも使えます。
汚水を回収した後のすすぎは原則必要ありません。排水設備が無く大量の水を使えないシチュエーションでは強アルカリイオン電解水を散布しマイクロファイバーパット等で拭きあげるセミドライ方式でも洗浄が出来ます。その際も一切残留の心配は皆無です。

(備考) 先塗り時に強アルカリイオン電解水がはじいてしまう場合は10Lに対し2～3滴の中性洗剤を添加すると濡れ性が改善されて床に対して馴染むようになります。

エンボス床の洗浄に・・・



カーペットの洗浄に・・・

ヤーンパット工法



スプレーバルチャー工法



カーペット洗浄において残留洗剤は最重要課題です。
ウィックバック、2次汚染のトラブル、シックハウス等の
トラブルの殆どはこの残留洗剤によって引き起こされます。
自己分解性があり残留皆無の強アルカリイオン電解水
を使用すればこれらの問題は一挙に解決できます。
また、カーペット洗浄に除菌や消臭の付加価値をつける
ことが出来ます。

(希釈倍率) (pH12.5) 原液～30倍
(pH13.1) 4～120倍

(使用方法) スプレーヤーで噴霧後ヤーンパットや
マイクロファイバーパットで拭きあげます。
作業スピードに優れるこの技法の欠点
だった「残留洗剤」の問題が解決されます。

(備考) 消臭、除菌効果を期待する場合は
(pH12.5) 原液～5倍
(pH13.1) 4～20倍
の希釈範囲でお使いください。
ウール等の天然素材に使用する場合は
(pH12.5) 30～100倍
(pH13.1) 120～400
の希釈範囲で使用し、
念のため色落ちが無いかのパッチテストを
行ってください。

カーペットの洗浄に・・・

2ステップ工法



エクストラクション工法



スチーム工法



(希釈倍率) (pH12.5) 原液～30倍
(pH13.1) 4～120倍

(使用方法) スプレーヤーで噴霧後、ポリッシャーにてアジテーションしてください。
エクストラクション(リンサー)の清水に強アルカリイオン電解水を希釈することで洗浄効果、消臭効果が向上します。

(備考) シャンピングポリッシャーから直接強アルカリイオン電解水を滴下することはお勧めいたしません。発砲性がないため均一に塗布することが出来ないためです。
消臭、除菌効果を期待する場合は
(pH12.5) 原液～5倍
(pH13.1) 4～20倍
の希釈範囲でお使いください。
ウール等の天然素材に使用する場合は
(pH12.5) 30～100倍
(pH13.1) 120～400
の希釈範囲で使用し、
念のため色落ちが無いかのパッチテストを行ってください。

エアコン洗浄に・・・



専用洗浄剤並みに洗浄力を発揮しますが
残留性がないので酸性水を使用したすすぎは
全く必要ありません。少量の水道水ですすぎれば作業完了です。

(希釈倍率) (pH12.5) 原液～30倍
(pH13.1) 4～120倍

(使用方法) スプレーヤーで噴霧後、すすぎ。
もしくはエアコン洗浄機に強アルカリイオン
電解水を自吸させて噴射洗浄後、すすぎ。

(備考) 油汚れ等が酷い時は強アルカリイオン電解水
をお湯で希釈することで洗浄力が著しくアップ
します。

照明器具の洗浄に・・・



タバコのヤニなどを強力に分解します。
残留がないため洗剤の拭き残しムラによる黄変筋が
後日浮き出てくることはありません。
すすぎ拭きが簡単で作業時間が大幅に短縮します。

(希釈倍率) (pH12.5) 原液～30倍
(pH13.1) 4～120倍

(使用方法) 強アルカリイオン電解水を浸し、絞ったウエス
にて拭き上げ。その後乾拭き。

厨房周りの洗浄に・・・



油汚れがメインの厨房洗浄で抜群の洗浄力を発揮します。
洗剤を使用した時のようなべたつきが無くサラッとした状態
に汚れを分解します。
水99.9%の強アルカリイオン電解水は食品を扱う厨房で
安心して使用することが出来ます。

(希釈倍率) (pH12.5)原液～10倍
(pH13.1)原液～40倍

(使用方法) スプレーヤーで噴霧、お湯で希釈して浸漬等
あらゆる洗浄方法でお使いいただけます。
いずれの方法に於いても、温めることが
洗浄力を向上させるコツです。
フライヤーにて強アルカリイオン電解水を
温めて、各箇所の洗浄に使用すると
フライヤーの洗浄も同時に出来ます。

(備考) 既存の洗剤でも歯が立たないような
強固な汚れには洗剤への添加剤として
強アルカリイオン電解水を使用することも
有効です。その場合は中性、アルカリ性の
洗剤使用時に限ります。

希釈倍率早見表

	2倍	3倍	4倍	5倍	10倍	15倍	20倍	25倍	30倍	35倍	40倍
pH12.5	12.19	12.02	11.89	11.8	11.5	11.32	11.19	11.1	11.02	10.95	10.89
pH13.1	12.79	12.62	12.49	12.4	12.1	11.92	11.79	11.7	11.62	11.55	11.49
	45倍	50倍	55倍	60倍	65倍	70倍	75倍	80倍	85倍	90倍	95倍
pH12.5	10.84	10.8	10.75	10.72	10.68	10.65	10.62	10.59	10.57	10.54	10.52
pH13.1	11.44	11.4	11.35	11.32	11.28	11.25	11.22	11.19	11.17	11.14	11.12
	100倍	105倍	110倍	115倍	120倍	130倍	135倍	140倍	145倍	150倍	155倍
pH12.5	10.5	10.47	10.45	10.43	10.42	10.38	10.36	10.35	10.33	10.32	10.3
pH13.1	11.1	11.07	11.05	11.03	11.02	10.98	10.96	10.95	10.93	10.92	10.9
	160倍	170倍	180倍	190倍	200倍	250倍	300倍	350倍	400倍		
pH12.5	10.29	10.26	10.24	10.22	10.19	10.1	10.02	9.95	9.89		
pH13.1	10.89	10.86	10.84	10.82	10.79	10.7	10.62	10.55	10.49		

※上記の希釈倍率時のpH値は理論値です。
自己分解性に優れる電解水は希釈倍率が
高くなる程、理論値よりpH値が低くなる傾向があります。